

日本族 16

日本の美容外科の技術とセンスを 上海に、そして中国に

盛虹明 (もり・こうめい)

医学博士、盛・美容外科院長



- 1982年 南京医学院(現・南京医科大学)卒業
- 1989年 日本留学。北里大学医学部、横浜市立大学医学部を経て、聖マリアンナ医科大学で医学博士を取得
- 1997年 横浜市立大学医学部形成外科勤務
- 2004年 中国帰国。9月に浦東新区で「盛・美容外科」を開業

● 日本形成外科学会会員
日本美容外科学会会員

上海を舞台に選んだ理由

上海は、陸のシルクロードの終点の街であり、同時に海のシルクロードの拠点としての役割も果たしていました。

時代は移り変わり、現代中国の時代となった今でも、今の上海の発展と成長や国際化は、新たな上海の姿を、国内外に向けて様々な分野で発信するまでになってきました。いずれそれは、ファッション・技術の分野でも言えることになると思います。事実、国内に向けては、十分にその役割を担っていると言えるでしょう。

このままの成長段階をたどれば、世界をリードする役割を担われる事は必至です。

なぜならば、諸外国で学び、現地で競争して仕事をしてきた優秀な頭脳を持った人たちがどんどん帰国し、今度は中国、特に上海を舞台にして競争している、または競争しようとしているからです。競争は知恵の発揮や文明発展の母です。

そして、私も医者として美容外科の分野で、日本で学んで来た知識と技術とサービスを上海を主な舞台にして、披露、そして発揮しようとして帰国しました。

日本行きを決意したきっかけ

82年に南京医学院(現・南京医科大学)を卒業した私は、7年間、故郷の常州市赤十字病院で医者として従事しました。

しかし、もっと勉強するの必要を感じた私は、日本留学を決意しました。

89年、北里三郎が建学した北里大学医学部で、その後、横浜市立大学医学部で学び、聖マリアンナ医科大学で医学博士号を取得しました。

そして、母校のひとつである横浜市立大学医学部形成外科で、97年から勤務し始めました。

中国からの留学生として、言葉の壁、生活習慣や文化の違いなど、その苦勞は筆舌に尽くしがたいものです。異国で医者の道を歩く事がいかに大変な事であるか、それは経験した者にしか理解できません。ましてや医者とは、人の生命を最終的に預かる立場にあり、患者の言葉の理解や認識にほんの少しでも誤差が生じれば、それが引いては大問題にもつながりかねないだけに、大変な神経を使ったものです。

しかし、言葉の壁の問題から生じた、神経を使い、患者さんの気持ちを理解しようと努めた事が、その後の美容外科医としての仕事の中で大変重要な意味を占めている事が段々と分かってきました。

美容外科の分野とは 使命感から上海に医院を開業

現在は、横浜市立大学の客員研究員という立場もあり、日々進歩する医学情報を得ながらの毎日ですが、私が日本で学び実践してきた成果を上海在住の日本人に日本の医療技術で恩返ししたい、また、中国人には最新の技術とサービスを施してあげたい、との気持ちから、本年6月、再び中国の土を踏み、9月、浦東のデパート八百伴から数分の場所にある崂山西路に開院しました。

華東師範大学日本語学校の向かいにあるホテル、中電大廈16階にあります。周辺は学際的環境であり、眺望も良く、また院内は、5つ星ホテル同様の雰囲気があると来院される

の方からお誉めの言葉をいただいています。

そもそも美容外科とは形成外科から発展してきた臨床分野ですから、いかに来院される方の要望、つまり外観の改善目的に応じられるかで決まります。もし応えられなければ、医療技術や腕が問われることになり、言い訳も許されず、信用も失いかねません。引いては、損害賠償や出身校の看板にも傷をつけかねません。

ですから、大元である形成外科の主な内容「先天性奇形、熱傷、外傷、皮膚腫瘍、再建術など病氣治療と機能回復」という基本的精神を原点に、芸術性、つまり繊細な有機的彫刻であるという考え方や姿勢で、美容外科の分野に臨んでいます。

日本で学んだハート 「安心・納得・満足の美しさ」の輪を広げたい

美容外科の先生には、医学的な知識だけでなく、美のセンス、心理学知識などのメンタル的なものが問われます。医者は、患者さんが医者と対面した時、自分のコンプレックスや悩みを打ち明けられる人格であるかどうか、重要な要素です。

だから、完全予約制でじっくり時間をかけカウンセリングし、悩みを聞き、一緒に目指す方向を考えて治療法を決めます。また、いかにも整形した美というものでなく、その人が本来持っている個性を自然美として表現し、本人の自信につながるものでなければなりません。

ですから、工場でモジュール化されたものを大量生産するとうわけにはいかず、ひとつひとつを細かいところまで、芸術作品を創るといふ考え方で臨んでいます。

現在、外傷・二重目・隆鼻・フェイスリフト・豊胸など形成・美容外科に関する事なら、自信を持って何でも相談に応じています。

そこでは、日本での16年間の勉強と経験がフルに活用されていると思っております。